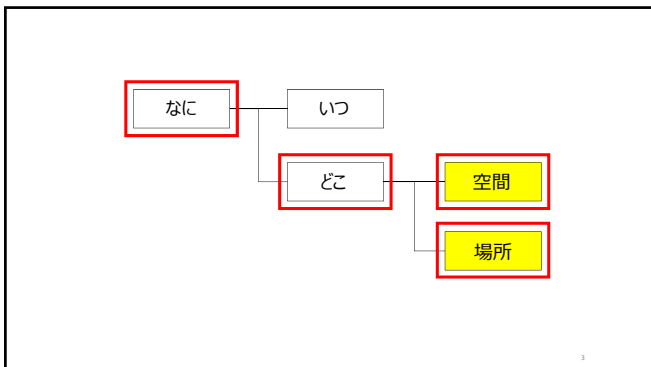




なぜ地理学は「重要」か？

- ・ 大学生がイラクや北朝鮮の位置を知らないから（2005年調査）⇨地政学的知識
- ・ 物体や事象（=なに）の生起・存在を規定するもの
- ・ いつ=時・時間（歴史学）
- ・ どこ=場・空間
- ・ 「場」の性質→地理学
- ・ 二つの「場」=空間と場所

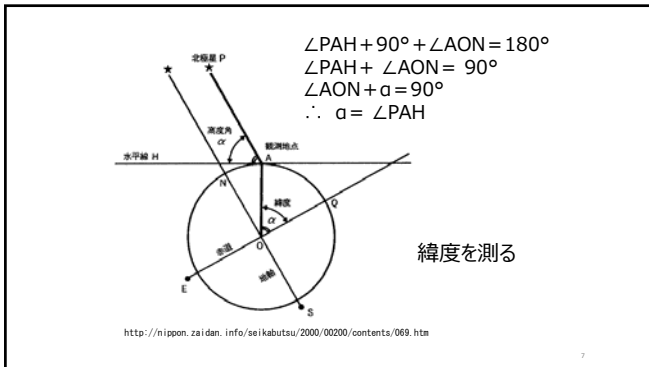


「空間」の意味と把握

1. そこを満たしている固体や液体が何も無い場所（広がり）。
2. （物質が存在し種類の現象が起こる場所としての）上下・左右・前後の三次元にわたる無限の広がり。三次元空間。
3. （数学で）直線・平面・「空間2」の総称。順に、一次元・二次元・三次元の空間と呼び、さらに四次元以上の空間にまで拡張される。

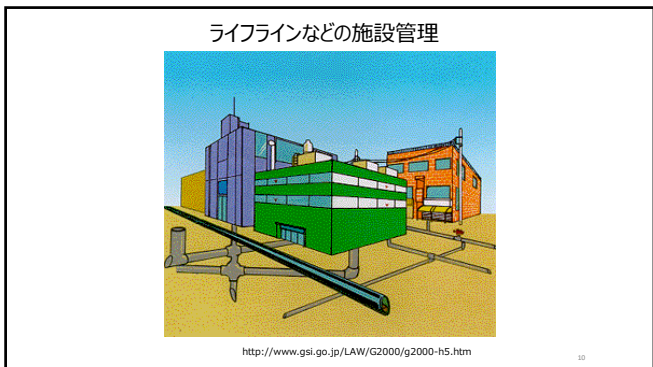
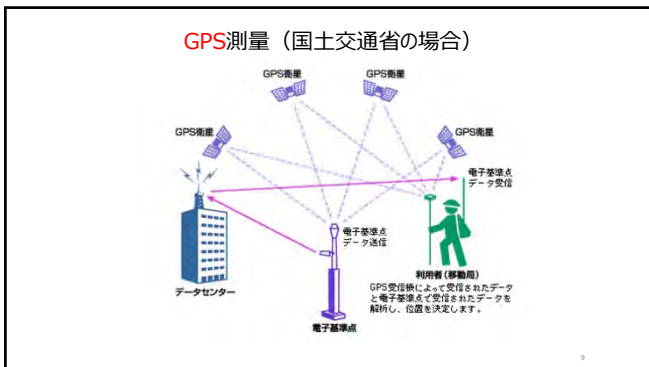
絶対空間・絶対位置という考え方





測位という発想とその技術

- かつては
天体観測。北極星、南十字星、太陽、月食。
- いまは
GPS (全地球測位システム) 衛星

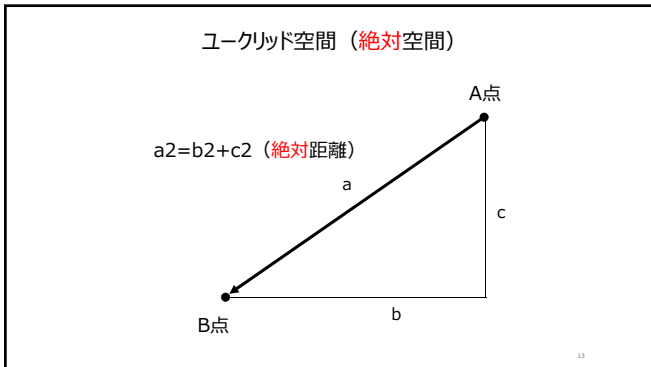


つまり、

- 変化したもの
位置測定技術、精度、情報の汎用性の飛躍的進歩
- 変化しないもの
位置は経緯度という座標によって示される

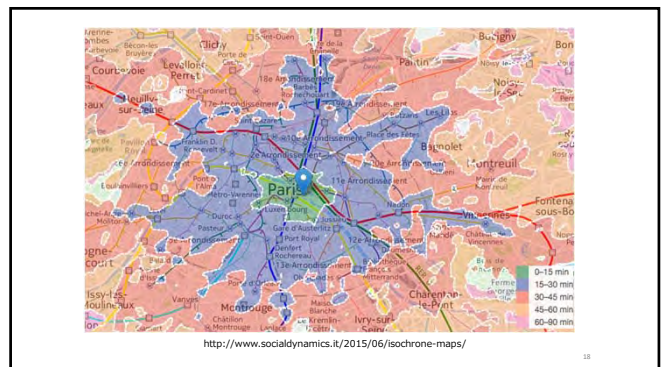
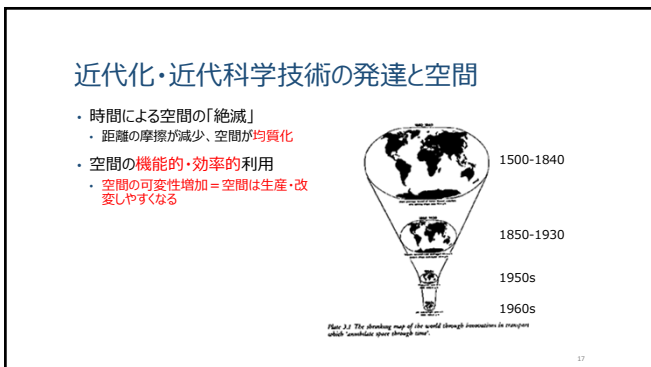
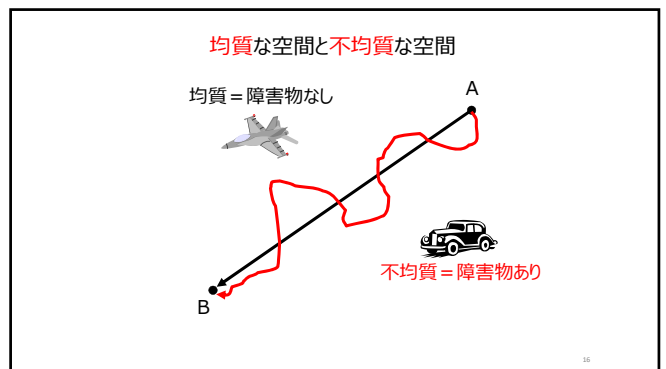
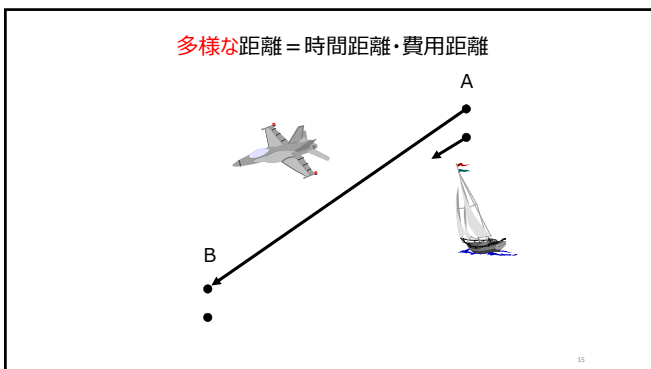
そこで、

- こうした抽象化された経緯度座標で計測・把握・表示されるような(物理的)地表の一部を空間、特に絶対空間と呼んでみましょう。
- 特定の経緯度で示される位置は地球上に一点しかない(絶対位置)。



「空間」と称されるものの属性

- ・ 物理的な量をもつ = 「長さ」、「広さ」、「大きさ」
- ・ したがって、客観的に計測できる
- ・ ただし可変的な性質をもつ



空間の三態（三つの捉え方）

- ・ **絶対空間** = 地球上の固定された位置
- ・ **可変的な空間** = 距離の意味・伸縮
- ・ **相関空間** = 空間を人間との関係で捉える
 - ・ 空間は人間の営為と切り離して考えられるか？
 - ・ そのような客観的な物理的空間として存在しているか？

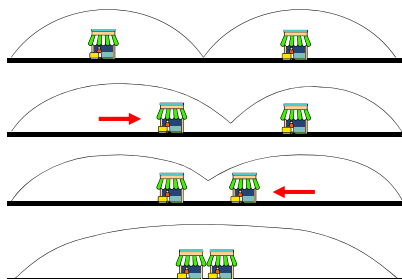


<http://www.umenosougyou.co.jp/publics/index/22/>

地理学における空間分析の展開（1）

- ・ **地誌学**の伝統
 - ・ 地域の個性を記述（所変われば品変わる）
 - ・ 「科学」への指向性（1950年代～70年代）
 - ・ 客観性・法則性・予測可能性を求める
 - ・ 数理的モデルの構築（**計量革命**）
- ↓
- 自然や社会に存在する**空間秩序**の発見

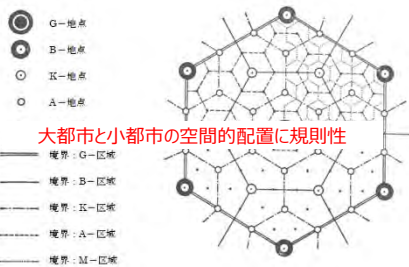
海岸のアイスクリーム売り：ホテリングモデル



地理学における空間分析の展開（2）

- ・ 三つの前提
 - ・ 海水浴客にアイスクリームのメニューに好みがない。
 - ・ 海水浴客は近い店でアイスクリームを買う。
 - ・ 海岸の海水浴客の混雑は均等である。
- ・ **商店の立地戦略と集積のメカニズム**

クリスタラーの中心地理論（都市の立地法則）



GISを使った売上予測モデルの例

売上予測モデル **Aoki-Model** あなたの店は高画に見合った売上をえていますか？

● どれくらいの売上が見込めるのか？
 ● 自店の実勢と競合店（ライバル・シェア）の売上は？
 ● 総合評価 or 階級により、売上はどうか変わるか？

<http://www.jps-net.com/gis/Aoki-Model.html>

空間分析への批判

- ・ 人間中心・社会変革の視角（1970年代頃～英米で）
 - ・ 公民権・反戦・学生運動などを経て社会矛盾への学問的接近
- ・ 空間分析での**人間不在**。空間的屬性だけで現象を説明しようとする（**空間分離主義**）。
- ・ 四つの潮流（知覚・行動、人文主義、マルクス主義、ポストモダン・批判的）

25

空間分離主義

- ・ 空間分析における人間 = 合理的**経済人**
 - ・ 合理性という公準によってのみ行動する
- ・ ロバート・サック（1974）
 - ・ 物体や事象（商品や消費者）の存在に関する理論から独立して、その空間的屬性（距離 = 店への近さ）だけを理論化できるか
 - ・ 物体や事象の屬性はその時間的・空間的屬性（いつ、どこにあるか）と不可分
 - ・ 物体や人間はビリヤード盤上の球ではない

26

知覚・行動の地理学

- ・ 現実的な人間の認知や行動を科学的（心理学的）に分析
- ・ **メンタル・マップ**（認知地図）研究
 - ↓
 - 人間が認知する空間は均質ではなく、いちじらしい歪みをもっている。

27

メンタル・マップの例



28

人文主義地理学

- ・ 特定の場所に対する**個人の（主観的・情緒的な）愛着**を重視
- ・ 人間によって「**経験される空間**」
- ・ 空間に対する「**場所**」
- ・ 政治地理学にとって重要な見方
 - ・ 後日のテーマ

29

マルクス主義地理学

- ・ 空間および自然（環境）と人間との関係という地理学的テーマについて（**経済的）法則性・理論を究明。**
- ・ 空間や環境における**社会矛盾**を明らかにする。
 - ↓
 - 資本主義の止揚**

30

ポストモダン（批判）地理学

- 地理学での人間回復を指向する三つの流れを包含する。1990年代から。
- **ポストモダニズム** = 世界に通底する普遍的原理を否定。多様性を尊重。近代社会のあり方（**モダニズム**）を批判。

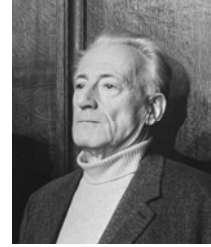
↓

近代社会の規範から疎外された人々（女性、少数民族、同性愛者、子ども、老人、障害者etc.）とそういう人々に関わる空間や場所を対象。

31

空間の生産 (THE PRODUCTION OF SPACE)

- 空間の歪みを発生させるもの
 - 人間による空間の効率的利用そのもの
 - 近代化→時空間圧縮
 - 社会は不均等に变化→貧富の地域格差
- アンリ・ルフェーブル（1901-91）
 - **空間（例：用途地域、都市）は社会的な生産物**
 - 生産された空間はそこに関わる**人間の知覚や実践に影響する**
 - そうした空間を生産する（資本制）**社会を再生産**



32